

学道一如

発行 小樽双葉高校
生徒会通信
2024年10月9日
第39号

ハワイに6週間留学 平岩さんCAの夢に近づけた

平岩莉奈さん(3-1)は8月1日〜9月14日までの6週間、ハワイのホノルルにあるパシフィック・ブディスト・アカデミー(PBA)という高校にホームステイをしながら短期留学した。授業やホームステイを通しての異文化体験について聞いた。

食文化の違い

留学を通して学んだことの一つは日本では当たり前な価値観



アラモアナショッピングセンター



中国系のホストファミリー、中央が平岩さん

が海外では通用しないことだ。たとえば、日本では野菜や魚をバランス良く取る食事が理想だが、ハワイのホームステイ先ではもっぱら肉料理だった。食習慣の違いに戸惑いを覚えた。

日本語と歴史の授業とった

高校の授業では日本語と歴史を学んだ。日本語の授業では会話やゲームを通して、楽しく日本語を学ぶ貴重な機会を得た。歴史はルネッサンスの時代について、留学生は課題をもらって学習、一般生徒はディスカッションをしていった。日本の3年の倫理で習ったことが役立った。

雨のキャンピングでパンケーキ

スクールキャンピングが実施され、テントを組み立て、食事を当番で作った。あいにくの雨でスポーツ行事は中止となったが、パンケーキ作りに励んだ。

国際線のCAを目指す

大学を出て、将来は国際線のCAになることを目指している。CAになることを目指している。生の英語に触れ、海外での暮らしを経験することが夢の実現に役立つと考えた。最初はやりたいことを上手く

やりたいことを追いかけて開業 bum curry & disco 卒業生のカレー屋 & 古着屋さん

「今頑張っていることのすべてが将来、活かせる。」
「双葉はいい学校。人生は長い。高校でやるべきことをやれば、後からやりたいことができる。」



左端がdiscoの今堀稚鴻さん、右端がbum curryの木下ひかりさん

馬淵先生の教え子がお店を開いたと聞き、取材した。稲穂4-3-9(友和のパンの近くの)の貸店舗で同級生の二人がカレー屋さんで古着屋さんを営んでいる。木下さんは色内の店舗から移り、今堀さんはオンラインの店を5月から対面でも始めた。異業種の共同店舗はお客様の買い物の特乗効果もあり、楽しいという。木下さんは看護師を8年勤め、一念奮起して3年前にカレー屋を開業。周囲の助言もあった。10種類のスパイスの効いたカレーは絶品だ。7月末のタカトシランドの取材で客も激増した。今堀さんは武蔵女子短大、文化服装専門学校を経て、東京でスタイリストとして独立していたが、小樽に戻ることになり、好きな服の仕事を始めた。お気に入りの衣装を買付けし売っている。二人は客の「美味しい」「かわいい」の反応を励みにやりたいことを追求している。



フルーツパンケーキ

伝えられないもどかしさを感じ、ホームシックにもなった。食事の量が多く、円安で費用がかさむのも大変だった。ワイキキでハンバーガーが2000円した。しかし、留学を終えてみて、英語力(会話・リスニング)が向上し、行動力、積極性が身につく、新しい友人ができて、自分の成長を感じている。CAの夢に近づく貴重な経験ができた。皆さんも是非、PBA留学に挑戦してほしい、と述べた。

スパイスと食材が絶妙



チキンとあさりの2種あいがけカレー

チキンカレー、アサリキーマ、豆カレー、季節のカレー(サンマ)からあいがけ2種・3種を頼んだ。スパイスの香り、程よい辛みと旨味、食材の美味しさを感じる逸品だった。木下さんは朝7時から仕込みをする。本格的なスパイスカレーを食べたい人にお勧めだ。待っている間に服もチェックできる。

